

令和7年度

宮崎県立特別支援学校
幼稚部・高等部入学者募集実施要綱

入学者募集要綱
入学者募集実施細目
出願書類等の様式

宮崎県教育委員会

目

次

I 令和7年度宮崎県立特別支援学校幼稚部・高等部入学者募集要綱	1
1 基本方針	1
2 募集を行う県立特別支援学校の部及び学科	1
3 募集人員	1
4 応募資格	1
5 出願手続	1
6 入学者の選考	1
7 その他	1
II 令和7年度宮崎県立特別支援学校幼稚部・高等部入学者募集実施細目	2
1 募集を行う県立特別支援学校の幼稚部・高等部の学科等	2
2 通学区域	2
3 願書の配付	2
4 出願手続	2
5 諸検査及び面接	3
6 合格者の発表	5
7 出願書類の作成要領	5
8 その他	10
別表1 募集を行う県立特別支援学校の幼稚部・高等部の学科等	11
別表2 通学区域	12
別表3 県立特別支援学校の所在地等一覧	13
参考資料	13～14
出願書類等の各様式	15～30
県外からの入学志願許可願の様式	31～32
令和7年度特別支援学校入学者募集に関する日程	33～35

I 令和7年度宮崎県立特別支援学校幼稚部・高等部入学者募集要綱

1 基本方針

県立特別支援学校幼稚部・高等部の入学者の募集は、一人一人の障がいの状態及び能力・適性等を総合的に考慮して適切な選考を行うこととする。

2 募集を行う県立特別支援学校の部及び学科

募集を行う県立特別支援学校の部及び学科については、別に定める「令和7年度宮崎県立特別支援学校幼稚部・高等部入学者募集実施細目」（以下「募集実施細目」という。）によることとする。

3 募集人員

募集人員は、別に定める「令和7年度宮崎県立特別支援学校幼稚部・高等部入学者募集人員」によることとする。

4 応募資格

障がいの区分及び障がいの程度が学校教育法施行令（昭和28年政令第340号）第22条の3の規定に該当し、本人及び保護者が県内に居住する者又は県外からの志願者で宮崎県教育委員会が志願を許可した者であって、次の各号のいずれかに該当する者とする。

(1) 幼稚部

- ① 明星視覚支援学校、都城さくら聴覚支援学校及び延岡しろやま支援学校（聴覚障がい教育部門）の幼稚部にあつては、平成31年4月2日から令和4年4月1日までに生まれた者であること。
- ② 赤江まつばら支援学校幼稚部にあつては、平成31年4月2日から令和3年4月1日までに生まれた者であること。

(2) 高等部

- ① 高等部本科にあつては、特別支援学校中学部、中学校若しくは義務教育学校の後期課程を卒業した者（令和7年3月卒業見込みの者を含む。）若しくは中等教育学校の前期課程を修了した者（令和7年3月修了見込みの者を含む。）又は学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第95条各号のいずれかに該当し、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者であること。
- ② 高等部専攻科にあつては、特別支援学校高等部、高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者（令和7年3月卒業見込みの者を含む。）又は学校教育法施行規則第150条各号のいずれかに該当し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者であること。

5 出願手続

入学志願者の出願手続については、募集実施細目によることとする。

6 入学者の選考

(1) 選考方法

幼稚部及び高等部の入学者の選考については、個人調査書、諸検査、面接の結果等を資料とし、総合的に判断して行う。

(2) 日程

- ① 諸検査及び面接 令和7年2月18日（火）及び2月19日（水）
- ② 合格者の発表 令和7年2月28日（金）

7 その他

この要綱に定めるもののほか、県立特別支援学校幼稚部・高等部入学者募集に関し必要な事項は、募集実施細目の定めるところによる。

Ⅱ 令和7年度宮崎県立特別支援学校幼稚部・高等部入学者募集実施細目

令和7年度宮崎県立特別支援学校幼稚部・高等部入学者募集要綱（以下「募集要綱」という。）に基づく募集の実施細目については、次のとおりとする。

1 募集を行う県立特別支援学校の幼稚部・高等部の学科等

募集を行う県立特別支援学校の幼稚部・高等部の学科等は、別表1のとおりとする。

2 通学区域

通学区域は、別表2のとおりとする。

3 願書の配付

願書は、令和6年12月9日（月）から、志願先の特別支援学校において配付する。願書の郵送を希望する場合は、封筒に「入学願書希望」と朱書きし、送付先を明記した返信用封筒（大きさは（角形2号）24 cm×33.2 cm、郵送料分の切手を貼付したもの）1通を同封し、別表3の志願先の特別支援学校長宛申し込むこと。

4 出願手続

(1) 受検に関する事前の教育相談

- ① 幼稚部及び高等部を志願する者（以下「志願者」という。）、保護者等において、認定こども園・幼稚園・保育所、中学校、特別支援学校等に在籍のある者は、園長・学校長等を通して、受検に関する事前の教育相談申込書（様式1）を提出し、令和6年12月6日（金）までに、志願先の特別支援学校において必ず受検に関する事前の教育相談を済ませておくこと。
- ② 認定こども園・幼稚園・保育所、中学校、特別支援学校等に在籍のない者は、受検に関する事前の教育相談を志願する特別支援学校に直接申し込み、令和6年12月6日（金）までに、志願先の特別支援学校において必ず受検に関する事前の教育相談を済ませておくこと。
- ③ 志願者、保護者、学級担任等は、志願する特別支援学校において学校教育法施行令第22条の3に規定される者であることの確認、特別支援学校の教育課程の確認、高等部卒業後の進路の確認等を十分に行うこと。
- ④ 県立高等学校を併願することはできないものとする。

(2) 出願書類

- ① 出願書類は、下表のとおりとする。志願先の特別支援学校の学科、障がい種、通常学級・重複障がい学級の別等により様式が異なるので、留意すること。

なお、作成に当たっては、「7 出願書類の作成要領」によること。

提出書類	幼稚部	高等部		
		普通科	保健医療科	専攻科
入学願書	様式2	様式3	様式4	様式5
受検票	様式2	様式3	様式4	様式5
調査書 確認書		様式6又は様式7	様式6 ※1 様式9 ※2	様式8 ※1 様式9

※1 卒業後5年を超える者については、卒業証明書の提出とする。

※2 様式6を提出する場合は、提出は不要。

- ② 入学願書、受検票、調査書、確認書について、電子媒体が必要な場合は、志願する学校に送付を依頼し、作成の上、提出する。
- ③ 当該特別支援学校長が必要と認めるもの。

(3) 出願書類の提出方法

① 幼稚部

- 志願者は、入学願書及び受検票に、その他の必要な書類を添えて、志願先の特別支援学校長（別表3）へ提出すること。
- 出願書類を郵送する場合は、封筒に「出願書類在中」と朱書すること。

② 高等部

- 志願者は、入学願書及び受検票、調査書に、その他の必要な書類を添えて、出身学校長を経て志願先の特別支援学校長（別表3）へ提出すること。なお、調査書は出身学校長が作成すること。ただし、中学校又は特別支援学校等に在籍のない者については、直接提出すること。
- 出願書類を郵送する場合は、封筒に「出願書類在中」と朱書すること。

③ 高等部専攻科

- 志願者は、入学願書及び受検票、調査書、確認書に、その他の必要な書類を添えて、志願先の特別支援学校長（別表3）へ提出すること。
- 出願書類を郵送する場合は、封筒に「出願書類在中」と朱書すること。

(4) 入学受検料

入学受検料は無料とする。

(5) 出願期間

出願期間は、令和7年1月28日(火)から1月30日(木)までとし、毎日午前9時から午後4時まで受付を行う。なお、郵送の場合は、1月30日(木)を必着とする。

(6) 受検票の交付

特別支援学校長は、提出された出願書類を精査し確認した後、受検票を交付する。なお、受検票は、幼稚部にあつては志願者の保護者等に対して、高等部にあつては出身学校長に対して交付する。ただし、高等部の志願者で中学校又は特別支援学校等に在籍のない者にあつては、志願者の保護者等に対して交付する。

郵送による受検票の交付を希望する場合は、出願書類の提出時に、送付先を明記した封筒（大きさは（長形3号）12.0 cm×23.5 cm、郵送料分の切手を貼付したもの）を添えて申し込むこと。

(7) 県外からの志願手続

県外からの志願者が入学志願する場合は、志願者の住所のある県教育委員会を経て、県外からの入学志願許可願（幼稚部にあつては（様式47※1）、高等部にあつては（様式44※2））を宮崎県教育委員会へ提出し、その許可を得なければならない。

※1、2 様式47、44については、「障がいのある児童生徒の就学事務の手引」（宮崎県教育委員会）による。

5 諸検査及び面接

(1) 諸検査及び面接の期日

令和7年2月18日（火）及び2月19日（水）

(2) 諸検査及び面接の日程

志願先の特別支援学校長が別途定めた諸検査及び面接の日程を受検票の交付時に通知する。

(3) 会場
志願先の特別支援学校（分校にあっては、学校長が定める会場）

(4) 受検者が当日持参すべきもの
受検票及び志願先の特別支援学校長が指示するものとする。

(5) 学力検査問題の出題範囲（高等学校に準ずる教育を行う教育課程）

教科	出題範囲
国語	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 中学校第1学年から第2学年までの全内容 ◇ 中学校第3学年の次の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書〔東京書籍 新しい国語3〕のP.202まで ・教科書〔光村図書 国語3〕のP.194まで
数学	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 中学校第1学年から第2学年までの全内容 ◇ 中学校第3学年の次の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書〔啓林館 未来へひろがる数学3〕のP.201まで ・教科書〔数研出版 これからの数学〕のP.215まで
外国語 (英語)	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 中学校第1学年から第2学年までの全内容 ◇ 中学校第3学年の次の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書〔東京書籍 NEW HORIZON 3〕のP.114まで ・教科書〔開隆堂 Sunshine 3〕のP.109まで
社会	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 地理・歴史の全内容 ◇ 公民についての次の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書〔東京書籍 新しい社会 P.126まで〕 ・教科書〔日本文教出版 中学社会 公民的分野 P.121まで〕 ・教科書〔教育出版 中学社会 公民 ともに生きる P.126まで〕
理科	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 中学校第1学年から第2学年までの全内容 ◇ 中学校第3学年の次の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書〔啓林館 未来へひろがるサイエンス3 P.249まで〕 ・教科書〔東京書籍 新しい科学3 P.251まで〕 ・教科書〔教育出版 自然の探究 中学理科3 P.261〕

(6) その他

- ① 諸検査及び面接の当日に保護者の同伴が必要な場合は、志願先の特別支援学校長が指示するものとする。
- ② 諸検査及び面接の当日に、病気その他やむを得ない事情のため、指定された会場で諸検査及び面接を受けることができない者については、志願先の特別支援学校長が別室受検等の配慮を行うことができる。
- ③ 諸検査及び面接の当日に、病気その他やむを得ない事情のため、諸検査及び面接を受けることができなかった者については、幼稚部及び高等部の志願者で中学校又は特別支援学校等に在籍のない者においては、志願先の特別支援学校長がその理由を認めたものに限り、高等部においては、その理由が出身学校長によって証明され、かつ、志願先の特別支援学校長がこれを認めたものに限り、志願先の特別支援学校長がこの諸検査及び面接に代わる他の適当な措置をとることができる。

6 合格者の発表

(1) 日時

令和7年2月28日(金) 午前10時

(2) 場所

志願先の特別支援学校(分校にあつては、学校長が定める会場)

(3) 方法

合格者の受検番号を校内掲示及び各学校のホームページ上で公表する(注1)とともに、各特別支援学校で志願者の所属する学校の学校長へ選考結果を伝える文書を手交する(注2)。ただし、志願者の所属する学校の学校長から事前に郵送の依頼があつた場合には、郵送によることができるが、発送日は2月28日(金)とする(注3)。

(注1) ホームページの掲示は、合格発表時刻から24時間を目安とする。

(注2) 志願者の所属する学校の学校長の代理者が受領する場合は、委任状を持参すること。

(注3) 郵送料は志願者の所属する学校の負担とする。

7 出願書類の作成要領

出願書類のうち、受検に関する事前の教育相談(様式1:認定こども園・幼稚園・保育所、中学校、特別支援学校等に在籍のある者)、入学願書・受検票(様式2~様式5)、調査書(様式6~様式8)、確認書(様式9)は、以下の要領により作成する。

出願書類の記入に当たっては、原則として常用漢字、算用数字及び現代仮名遣いを使用する。記入事項の誤りを訂正する場合は、誤記事項を2本線で削除して訂正事項を記入し、訂正箇所(訂正者(記載者)の認印を押印する。

「※」印の欄は記入しない。

(1) 受検に関する事前の教育相談(様式1)

ア	志願者	志願者の氏名及び生年月日を住民票に基づいて記入し、性別については、男・女のいずれかを○で囲む。氏名には平仮名で振り仮名を記入する。 郵便番号及び住民票に基づいた住所を番地まで記入する。市郡以下の記載で県名が明確な場合は、県名を省略してもよい。
イ	学校等	認定こども園・幼稚園・保育所、中学校、特別支援学校等、該当する園・学校名、園長・校長等が卒園・卒業を認定する年月日を記入する。
ウ	保護者等	(ア)「氏名」は、幼児あるいは生徒に対して親権を行う者を、親権を行う者がいないときは後見人を記入する。 (イ)「志願者との関係」は、保護者が幼児あるいは生徒の何に当たるか、例えば、父、母、養父、養母、配偶者等と記入する。なお、後見人の場合には、後見人と記入し()書きで、おじ、おば等と記入する。 (ウ)「現住所」は、郵便番号及び住民票に基づいた番地まで記入する。市郡以下の記載で県名が明確な場合は、県名を省略してもよい。
エ	教育部門	※延岡しろやま支援学校を志願する場合のみ記入すること。 延岡しろやま支援学校については、志願する教育部門について「聴覚障がい教育部門」、「肢体不自由教育部門」、「知的障がい教育部門」

		から選択し記入する。
オ	志 願 す る 学 級 ・ 学 科	<p>志願する学級・学科について、いずれかを○で囲む。</p> <p>(ア) 幼稚部の希望者は、「志願する学級」の該当年齢の学級を○で囲むこと。</p> <p>(イ) 高等部普通科の希望者は、「志願する学級」を○で囲むこと。</p> <p>(ウ) 高等部保健医療科の希望者は、「保健医療科」を○で囲むこと。</p> <p>(エ) 高等部専攻科の希望者は、「志願する学科」を○で囲むこと。</p>
カ	志 願 理 由	該当校を志願する理由や入学後の学校生活における抱負などを簡潔に記入する。

(2) 入学願書・受検票（様式2～様式5）

ア	志 願 者 氏 名 生 年 月 日 ・ 性 別	志願者の氏名及び生年月日を住民票に基づいて記入し、性別については、男・女のいずれかを○で囲む。氏名には平仮名で振り仮名を記入する。受検票にも記入する。
イ	現 住 所	郵便番号及び住民票に基づいた住所を番地まで記入する。市郡以下の記載で県名が明確な場合は、県名を省略してもよい。
ウ	出 身 学 校 (幼稚部を除く)	中学校、特別支援学校等、該当する学校名及び校長が卒業を認定する見込み又は認定した年月日を記入する。卒業見込、卒業については、いずれかを○で囲む。
エ	保 護 者 等	<p>(ア) 「氏名」は、幼児あるいは生徒に対して親権を行う者を、親権を行う者がいないときは後見人を記入する。</p> <p>(イ) 「志願者との関係」は、保護者が幼児あるいは生徒の何に当たるか、例えば、父、母、養父、養母、配偶者等と記入する。なお、後見人の場合には、後見人と記入し()書きで、おじ、おば等と記入する。</p> <p>(ウ) 「現住所」は、郵便番号及び住民票に基づいた番地まで記入する。市郡以下の記載で県名が明確な場合は、県名を省略してもよい。</p>
オ	教 育 部 門	<p>※延岡しろやま支援学校高等部を志願する場合のみ記入すること。</p> <p>延岡しろやま支援学校については志願する教育部門について「肢体不自由教育部門」、「知的障がい教育部門」から選択し記入する。</p>
カ	志 願 す る 学 級 ・ 学 科	<p>志願する学級・学科について、いずれかを○で囲む。受検票にも記入する。</p> <p>志願する学級については志願先の特別支援学校での事前の教育相談において十分相談を行うこと。</p> <p>(様式2-1、2-2 幼稚部用の「志願する学級」では志願する学級の該当年齢の学級を○で囲むこと。)</p> <p>(様式3-1、3-2 高等部普通科用の「志願する学級」では志願する学級を○で囲むこと。)</p> <p>(様式4 高等部保健医療科用の「志願する学科」については、記入の必要はない。)</p> <p>(様式5 高等部専攻科用の「志願する学科」については、第1希望の学科に○をつける。)</p>
キ	志 願 理 由 (幼稚部を除く)	該当校を志願する理由や入学後の学校生活における抱負などを簡潔に記入する。

(3) 調査書

(様式6) 高等学校に準ずる教育を行う特別支援学校普通科通常学級、保健医療科用
(明星視覚支援学校、都城さくら聴覚支援学校、赤江まつばら支援学校、
清武せいりゅう支援学校、延岡しろやま支援学校)

ア	志願者 出身学校	(ア) 前記(1)入学願書・受検票の作成要領による。 (イ) 中学校においては、通常の学級、特別支援学級(知的障がい、肢体不自由、身体虚弱、弱視、難聴、自閉症・情緒障がい)のいずれかを○で囲む。特別支援学校については、通常学級、重複障がい学級、訪問教育学級のいずれかを○で囲む。
イ	受検に関する 事前の教育相談	(ア) 「受検に関する事前の教育相談実施日」については、志願する特別支援学校において実施した期日を記入する。 ※ 複数回ある場合は、最後に実施した期日を記入する。 (イ) 「実施校」には、受検に関する教育相談を行った特別支援学校を記入する。 (ウ) 「参加者」については、志願者の氏名、保護者の続柄・氏名、学級担任等の職名・氏名を記入する。 (エ) 「確認事項」については、受検に関する教育相談において確認された事項について☑でチェックを入れる。 (オ) 「確認事項」において、障がいがあるということを示す根拠(特別支援学校の対象者であること(医師の診断書等))について確認すること。なお、医師の診断がある場合は、事前の教育相談時に「診断書の写し」を提出すること。
ウ	学習の記録Ⅰ	第1・第2学年の観点別学習状況及び評定は、「中学校及び特別支援学校中学部指導要録」(以下「指導要録」という。)に記載されたものを記入する。第3学年の観点別学習状況及び評定は、令和6年12月末日まで(卒業者については「指導要録」)の成績によって行うこと。
エ	学習の記録Ⅱ	(ア) 第1・第2学年の選択教科及び評定は、「指導要録」に記載されたものを記入する。第3学年の選択教科及び評定は、令和6年12月末日まで(卒業者については「指導要録」)の成績によって行うこと。 (イ) 「総合的な学習の時間の記録」については、学習活動及び評価の観点を記載した上で、それらの観点のうち、生徒の学習状況に顕著な事項がある場合などに、その特徴や、生徒にどのような力が身に付いたかを文章で記入する。卒業者については、書くことのできる箇所のみ記入すること。 (ウ) 各学校の独自設定教科については、「選択教科」に記入する。
オ	特別活動の記録	(ア) 「活動の状況」は、「指導要録」に記載されたものを記入する。ただし、第3学年は、令和6年12月末日まで(卒業者については「指導要録」)の状況を記入する。 (イ) 「活動の状況」について、具体的な内容について説明を要する場合は、「総合所見及び指導上参考となる諸事項」に具体的に記入する。
カ	行動の記録	「状況」は、「指導要録」に記載されたものを記入する。ただし、第3学年は、令和6年12月末日まで(卒業者については「指導要録」)の状況を記入すること。

キ	総合所見及び指導上参考となる諸事項	(ア) 総合所見及び指導上参考となる諸事項については、「指導要録」の記入要領に基づき、3か年を総合して記入する。ただし、卒業者にあっては卒業後の動向を含む。 (イ) 「部活動等」には、部活動等における大会やコンクールなどへの参加及び実績や受賞歴、「奉仕活動等」には、学校内外における奉仕活動等及び表彰を受けた行為や活動等、「資格・特技等」には、取得資格や検定等についての級や段位等、主なものを具体的に記入する。
ク	出欠の記録	(ア) 第3学年の出欠の記録は、令和6年12月末日（卒業者については、卒業した年の3月末日）までとする。 (イ) 欠席の主な理由を記入し、さらに遅刻、早退が、それぞれ年間10回以上ある場合は、その回数と理由を記入する。
ケ	健康診断の記録	出身学校における最終健康診断の結果を記入する。なお、記入に当たっては、下記の事項に留意する。 (ア) 「視力」の欄には、裸眼視力又は矯正視力をA・B・C・Dの4段階で記入するものとし、矯正視力の場合は()に記入する。 (イ) 「聴力」の欄には、異常又は所見があれば聴力及び補聴器等装用時聴力を記入する。ない場合は、「異常なし」の口にチェックを入れる。 (ウ) 「その他」の欄には、主たる障がい及び疾病等以外で、指導上特に配慮すべき症状等があれば記入する。ない場合は、「なし」と記入する。
コ	主たる障がいの状況及び疾病等	主たる障がいや疾病等について、障がい名又は疾病名、障がいの状況や病状等について記入する。
サ	受検時の配慮事項	受検時に必要となる支援の内容や配慮事項について記入する。ない場合は、「なし」と記入する。

(様式7) 知的障がい通常学級、重複障がい学級、訪問教育学級用

ア	志願者出身学校	(ア) 前記(1)入学願書・受検票の作成要領による。 (イ) 中学校においては、通常の学級、特別支援学級（知的障がい、肢体不自由、身体虚弱、弱視、難聴、自閉症・情緒障がい）のいずれかを○で囲む。特別支援学校については、通常学級、重複障がい学級、訪問教育学級のいずれかを○で囲む。
イ	受検に関する事前の教育相談	(ア) 「受検に関する事前の教育相談実施日」については、志願する特別支援学校において実施した期日を記入する。 ※ 複数回ある場合は、最後に実施した期日を記入する。 (イ) 「実施校」には、受検に関する教育相談を行った特別支援学校を記入する。 (ウ) 「参加者」については、志願者の氏名、保護者の続柄・氏名、学級担任等の職名・氏名を記入する。 (エ) 「確認事項」については、受検に関する教育相談において確認された事項について☑でチェックを入れる。 (オ) 「確認事項」において、障がいがあるということを示す根拠（特別支援学校の対象者であること（医師の診断書等））について確認すること。なお、医師の診断がある場合は、事前の教育相談時

		に「診断書の写し」を提出すること。
ウ	身体 の 状 況	(ア) 「視力」の欄には、裸眼視力又は矯正視力をA・B・C・Dの4段階で記入するものとし、矯正視力の場合は()に記入する。 (イ) 「聴力」の欄には、異常又は所見があれば聴力及び補聴器等装用時聴力を記入する。ない場合は、「異常なし」の□にチェックを入れる。 (ウ) 「その他」の欄には、指導上特に配慮すべき疾病等があれば記入する。ない場合は、「なし」と記入する。 (エ) 「障がいや疾病等の状況や配慮事項」については、障がい名又は疾病名、障がいの状況や病状、配慮事項等について記入する。
エ	心 理 検 査	「田中ビネー知能検査」、「WISC 知能検査」、「K-ABC 心理・教育アセスメントバッテリー」、「新版S-M 社会生活能力検査」などの心理発達検査名、検査結果、実施年月日、検査実施機関名を記入する。
オ	基本的な生活習慣の状況	(ア) 衣服の着脱、食事、排泄の自立状況について記入する(例「完全に一人で行える」、「部分的に介助が必要である」)。また、その状況を簡潔に記入する。 (イ) その他は、(ア)以外の日常生活の状況を記入する。
カ	学 習 の 状 況	各教科等の学習の状況は、「指導要録」に記載されたものを記入する。学習内容と達成状況等の評価を具体的に記入すること。
キ	心理行動面の特性	性格及び障がいに起因する特性などを具体的に記入する。
ク	生徒指導上参考となる事柄等	これまで取り組んできた生徒指導上参考となる事柄等について記入する。
ケ	出 欠 の 記 録	(ア) 第3学年の出欠の記録は、令和6年12月末日(卒業者については、卒業した年の3月末日)までとする。 (イ) 欠席の主な理由を記入し、さらに遅刻、早退が、それぞれ10回以上ある場合は、その回数と理由を記入すること。
コ	受検時の配慮事項	受検時に必要となる支援の内容や配慮事項について記入する。ない場合は、「なし」と記入する。

(様式8) 明星視覚支援学校高等部専攻科用

ア	志願者・出身学校	前記(1)入学願書・受検票の作成要領による。
イ	各教科・科目等の学習の記録	第1・第2学年の評定は、「高等学校及び特別支援学校高等部指導要録」(以下「指導要録」という。)に記載されたものを記入する。第3学年の評定は、令和6年12月末日まで(卒業者については「指導要録」)の成績によって行うこと。
ウ	総合的な探究の時間の記録	「総合的な探究の時間」の活動内容及び評価の観点を記載した上で、それらの観点のうち、生徒の学習状況に顕著な事項がある場合などに、その特徴や、生徒にどのような力が身に付いたかを文章で記述する。卒業者については、「指導要録」の状況を記入すること。
エ	特別活動、自立活動の記録	「指導要録」に記載されたものを記入する。第3学年は、令和6年12月末日まで(卒業者については「指導要録」)の状況を記入すること。
オ	指導上参考となる諸事項	「指導要録」の記入要領に基づき、3か年を総合して記入する。ただし、卒業者については、卒業後の動向を含む。
カ	出 欠 の 記 録	(ア) 第3学年の出欠の記録は、令和6年12月末日(卒業者については、卒業した年の3月末日)までとする。

		(イ) 欠席の主な理由を記入し、さらに遅刻、早退が、それぞれ10回以上ある場合は、その回数と理由を記入すること。
キ	視覚障がいの状況及び疾病等	視覚障がいや疾病等について、障がいの状況や疾病名、病状等について記入する。
ク	受検時の配慮事項	受検時に必要となる支援の内容や配慮事項について記入する。ない場合は、「なし」と記入する。

(4) 確認書

(様式9) 明星視覚支援学校高等部保健医療科、専攻科用

ア	志願者 出身学校	(ア) 前記(1)入学願書・受検票の作成要領による。 (イ) 高等部保健医療科志願者は、出身中学校を記入する。専攻科志願者は、出身高等学校等を記入する。
イ	受検に関する 事前の教育相談	(ア) 「受検に関する事前の教育相談実施日」については、明星視覚支援学校において実施した期日を記入する。 ※ 複数回ある場合は、最後に実施した期日を記入する。 (イ) 「参加者」については、志願者の氏名、保護者等の続柄・氏名を記入する。 (ウ) 「確認事項」については、受検に関する教育相談において確認された事項について☑でチェックを入れる。 (エ) 「確認事項」において、障がいがあるということを示す根拠（特別支援学校の対象者であること（医師の診断書等））について確認すること。なお、医師の診断がある場合は、事前の教育相談時に「診断書の写し」を提出すること。

8 その他

この募集実施細目に定めるもののほか、必要な事項は、別に志願先の特別支援学校長が定めるものとする。

別表Ⅰ 募集を行う県立特別支援学校の幼稚部・高等部の学科等

学 校 名	障 が い 種	学 部	学 科 等		教育課程	
明星視覚支援学校	視覚障がい	幼稚部	3 歳 児	通常学級		
				重複障がい学級		
			4 歳 児	通常学級		
				重複障がい学級		
			5 歳 児	通常学級		
				重複障がい学級		
		高等部	普通科	通常学級		A
				重複障がい学級		B
保健療科			A			
専攻科	理 療 科		C			
	保健療科	C				
都城さくら聴覚支援学校	聴覚障がい	幼稚部	3 歳 児	通常学級		
				重複障がい学級		
			4 歳 児	通常学級		
				重複障がい学級		
			5 歳 児	通常学級		
				重複障がい学級		
		高等部	普通科	通常学級		A
				重複障がい学級		B
みやざき中央支援学校	知的障がい 肢体不自由	高等部	普通科	通常学級	B	
				重複障がい学級	B	
赤江まつばら支援学校	病 弱	幼稚部	4・5 歳 児	通常学級		
				重複障がい学級		
		高等部	普通科	通常学級		A
				重複障がい学級		B
みなみのかぜ支援学校	知的障がい	高等部	普通科	通常学級	B	
				重複障がい学級	B	
日南くろしお支援学校	知的障がい 肢体不自由	高等部	普通科	通常学級	B	
				重複障がい学級	B	
				訪問教育学級	B	
都城きりしま支援学校	知的障がい 肢体不自由	高等部	普通科	通常学級	B	
				重複障がい学級	B	
				訪問教育学級	B	
日向ひまわり支援学校	知的障がい 肢体不自由	高等部	普通科	通常学級	B	
				重複障がい学級	B	
				訪問教育学級	B	
児湯るぴなす支援学校	知的障がい 肢体不自由	高等部	普通科	通常学級	B	
				重複障がい学級	B	
				訪問教育学級	B	
清武せいりゅう支援学校	肢体不自由	高等部	普通科	通常学級	A	
				重複障がい学級	B	
				訪問教育学級	B	

延岡しろやま支援学校	聴覚障がい (聴覚障がい 教育部門)	幼稚部	3 歳 児	通常学級	
				重複障がい学級	
			4 歳 児	通常学級	
			重複障がい学級		
		5 歳 児	通常学級		
			重複障がい学級		
	知的障がい (知的障がい 教育部門)	高等部	普通科	通常学級	B
				重複障がい学級	B
		高等部	普通科	通常学級	A
重複障がい学級	B				
訪問教育学級	B				
延岡しろやま支援学校 高千穂校	知的障がい 肢体不自由	高等部	普通科	通常学級	B
				重複障がい学級	B
小林こすもす支援学校	知的障がい 肢体不自由	高等部	普通科	通常学級	B
				重複障がい学級	B
				訪問教育学級	B
備 考	上記右欄に示した教育課程については、以下のとおり A：高等学校に準ずる教育を行う教育課程 B：知的障がいのある生徒に対応した教育課程 C：視覚障がい特別支援学校の専攻科の教育課程				

別表2 通学区域

学 校 名	学 部	通 学 区 域
明星視覚支援学校	幼稚部	県下全域
都城さくら聴覚支援学校	幼稚部	宮崎市、都城市、日南市、えびの市、小林市、串間市、東諸県郡、北諸県郡、西諸県郡
延岡しろやま支援学校	幼稚部	延岡市、日向市、西都市、児湯郡、東臼杵郡、西臼杵郡
赤江まつばら支援学校	幼稚部	県下全域
明星視覚支援学校 都城さくら聴覚支援学校 みやざき中央支援学校 赤江まつばら支援学校 みなみのかぜ支援学校 日南くろしお支援学校 都城きりしま支援学校 日向ひまわり支援学校 児湯るびなす支援学校 清武せいりゅう支援学校 延岡しろやま支援学校 延岡しろやま支援学校高千穂校 小林こすもす支援学校	高等部	県下全域

別表3 県立特別支援学校の所在地等一覧

学 校 名	住 所	電 話
明星視覚支援学校	〒880-0121 宮崎市大字島之内 1390 番地	0985-39-1021
都城さくら聴覚支援学校	〒885-0094 都城市都原町 7430 番地	0986-22-0685
みやざき中央支援学校	〒880-0121 宮崎市大字島之内 2100 番地	0985-39-1633
赤江まつばら支援学校	〒880-0911 宮崎市大字田吉 4977 番地 371	0985-56-0655
みなみのかぜ支援学校	〒889-1601 宮崎市清武町木原 4257 番地 6	0985-85-7851
日南くろしお支援学校	〒887-0034 日南市大字風田 4030 番地	0987-23-9212
都城きりしま支援学校	〒885-0092 都城市南横市町 7097 番地 2	0986-25-1878
日向ひまわり支援学校	〒883-0033 日向市大字塩見 12161 番地	0982-54-9610
児湯るびなす支援学校	〒889-1401 児湯郡新富町大字日置 1297 番地	0983-33-4207
清武せいりゅう支援学校	〒889-1601 宮崎市清武町木原 4257 番地 9	0985-85-6641
延岡しろやま支援学校	〒882-0802 延岡市野地町 3 丁目 3477 番地 2	0982-29-3715
延岡しろやま支援学校 高千穂校	〒882-1101 西臼杵郡高千穂町大字三田井 1234 番地	0982-73-1077
小林こすもす支援学校	〒886-0007 小林市真方 124 番地	0984-24-5508

参考資料

1 学校教育法第 72 条

特別支援学校は、視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者（身体虚弱者を含む。以下同じ。）に対して、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする。

2 学校教育法第 75 条

法第 72 条に規定する視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者の障害の程度は、政令で定める。

3 学校教育法施行令第 22 条の 3

法第 75 条の政令で定める視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者の障害の程度は、次の表に掲げるとおりとする。

区 分	障 害 の 程 度
視 覚 障 害 者	両眼の視力がおおむね 0.3 未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴 覚 障 害 者	両耳の聴力レベルがおおむね 60 デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
知 的 障 害 者	一 知的発達が遅滞があり、他人との意思疎通が困難で日常生活を営むのに頻繁に援助を必要とする程度のもの 二 知的発達遅滞の程度が前号に掲げる程度に達しないものうち、社会生活への適応が著しく困難なもの
肢 体 不 自 由 者	一 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 二 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病 弱 者	一 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 二 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの

備考

- 一 視力の測定は、万国式試視力表によるものとし、屈折異常があるものについては、矯正視力によって測定する。
- 二 聴力の測定は、日本産業規格によるオージオメータによる。

4 学校教育法施行規則第95条

[入学資格に関し中学校卒業者と同等以上と認められる者]

学校教育法第57条の規定により、高等学校入学に関し、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- 一 外国において、学校教育における九年の課程を修了した者
- 二 文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- 三 文部科学大臣の指定した者
- 四 就学義務猶予免除者等の中学校卒業程度認定規則（昭和41年文部省令第36号）により、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者
- 五 その他高等学校において、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

5 学校教育法施行規則第150条

[入学資格に関し高等学校卒業者と同等以上と認められる者]

学校教育法第90条第1項の規定により、大学入学に関し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- 一 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- 二 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- 三 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- 四 文部科学大臣の指定した者
- 五 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定（以下「旧検定」という。）に合格した者を含む。）
- 六 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であつて、当該者をその後に入学させる大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- 七 大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

(様式1：認定こども園・幼稚園・保育所、中学校、特別支援学校等に在籍のある者)

〇〇〇〇 - 〇〇〇〇
令和 年 月 日

〇〇〇〇支援学校長 殿

所属長 印

受検に関する教育相談の申込について (依頼)

このことにつきまして、下記のとおり申し込みますので、よろしくお取り計らいいただきますようお願いいたします。

記

志願者	ふりがな氏名				性別	男 ・ 女	
	生年月日	平成 ・ 令和 年 月 日生					
	現住所	〒 (電話 - -)					
	学校等	園 ・ 学校 (令和 年 月 日 卒園見込・卒業見込)					
保護者等	ふりがな氏名				志願者との関係		
	現住所	〒 (電話 - -) (FAX - -)					
教育部門		() 教育部門 ※ 延岡しろやま支援学校のみ記入					
志願する学級・学科 (該当するものに〇)	幼稚園部			高等部普通科		高等部保健医療科	
	3歳児学級	4歳児学級	5歳児学級	1 通常学級		保健医療科	
	1 通常学級	1 通常学級	1 通常学級			高等部専攻科	
	2 重複障がい学級	2 重複障がい学級	2 重複障がい学級	2 重複障がい学級		1 専攻科医療科	
			3 訪問教育学級		2 専攻科保健医療科		
志願理由							
希望日	第1希望		令和6年 月 日 ()				
	第2希望		令和6年 月 日 ()				
	第3希望		令和6年 月 日 ()				
学級担任	〇年 〇組 学級担任職・氏名 職 () 氏名 ()						

特別支援学校入学願書（幼稚部用）

受付年月日	※令和7年	月	日	※	受検番号		
志願者	ふりがな氏名			性別	男・女		
	生年月日	平成・令和		年	月	日生	
保護者	現住所	〒					
	ふりがな氏名			志願者との関係			
	現住所	〒					
連絡先	電話						
志願する学級 (該当に○)	1	3歳児学級（通常学級）	2	3歳児学級（重複障がい学級）			
	3	4歳児学級（通常学級）	4	4歳児学級（重複障がい学級）			
	5	5歳児学級（通常学級）	6	5歳児学級（重複障がい学級）			
宮崎県立	支援学校長 殿						
貴校幼稚部への入学を希望したいので、必要書類を添えて出願します。							
令和7年				月	日	保護者氏名	

(注) 1 ※印の欄は記入しないでください。
 2 必要書類は、学校によって異なりますので御注意ください。

割印

受検票（令和7年度用）	
受検番号	※
ふりがな氏名	
生年月日	平成・令和 年 月 日生
志願する学級 (該当に○)	1 3歳児学級（通常学級） 2 3歳児学級（重複障がい学級） 3 4歳児学級（通常学級） 4 4歳児学級（重複障がい学級） 5 5歳児学級（通常学級） 6 5歳児学級（重複障がい学級）
受検会場	※
※	宮崎県立 支援学校長 印

(注) 1 ※印の欄は記入しないこと。
 2 この受検票は、受検中必ず携帯すること。
 3 持参すべきもの
 志願先の特別支援学校長が指示するもの。

特別支援学校入学願書（赤江まつばら支援学校幼稚部用）

受付年月日	※令和7年	月	日	※	受検番号		
志願者	ふりがな氏名			性別	男	女	
	生年月日	平成・令和		年	月	日	生
保護者	現住所	〒					
	ふりがな氏名			志願者との関係			
連絡先	現住所	〒					
	電話番号						
志願する学級（該当に○）	1	4・5歳児学級（通常学級）					
	2	4・5歳児学級（重複障がい学級）					
宮崎県立赤江まつばら支援学校長 殿							
貴校幼稚部への入学を希望したいので、必要書類を添えて出願します。							
令和7年				月	日		
						保護者氏名	

割印

受検票（令和7年度用）	
受検番号	※
ふりがな氏名	
生年月日	平成・令和 年 月 日生
志願する学級（該当に○）	1 4・5歳児学級（通常学級） 2 4・5歳児学級（重複障がい学級）
受検会場	※
※	宮崎県立赤江まつばら支援学校長 印

- (注) 1 ※印の欄は記入しないこと。
 2 この受検票は、受検中必ず携帯すること。
 3 持参すべきもの
 志願先の特別支援学校長が指示するもの。

特別支援学校入学願書 (高等部普通科用)

受付年月日	※令和7年	月	日	受検番号	※	
志願者 ふりがな氏名	志願者写真貼付 1 脱帽 2 正面・上半身 3 縦4cm×横3cm 4 出願前3か月以内に撮影した写真を貼り付けること					
	生年月日	昭和・平成	年	月	日	性 別
現住所	〒 (電話 - -)					
出身学校	立 学校 (昭和・平成・令和 年 月 日 卒業・卒業見込)					
保護者 ふりがな氏名	志願者との関係					
	現住所	〒 (電話 - -)				
志願理由	志願する学級 (該当に○)					
	1 通常学級 2 重複障がい学級 3 訪問教育学級					
宮崎県立 支援学校長 殿						
私は、貴校高等部普通科第1学年へ入学したいので、必要書類を添えて出願します。						
令和7年 月 日 志願者氏名 保護者氏名						

割印

受 検 票 (令和7年度用)					
受検番号	※				
ふりがな氏名					
生年月日	昭和・平成	年	月	日	日生
出身学校					
志願する学級 (該当に○)	1 通常学級 2 重複障がい学級 3 訪問教育学級				
※ 宮崎県立	支援学校長				印

- (注) 1 ※印の欄は記入しないこと。
2 この受検票は、受検中必ず携帯すること。
3 持参すべきもの
志願先の特別支援学校長が指示するもの。

- (注) 1 ※印の欄は記入しないでください。
2 必要書類は、学校によって異なりますので御注意ください。
3 志願する学級は、志願先の特別支援学校の教育課程に準じて、適切な学級を選択してください。

特別支援学校入学願書（延岡しるやま支援学校高等部普通科用）

受付年月日	※令和7年	月	日	受検番号	※
志願者	ふりがな氏名	志願者写真貼付 1 脱帽 2 正面・上半身 3 縦4cm×横3cm 4 出願前3か月以内に撮影した写真を貼り付けること			
	生年月日	昭和・平成	年	月	日
	現住所	〒	（電話	- -	）
	出身学校	立学校 （平成・令和 卒業・卒業見込）			
保護者	ふりがな氏名	志願者との関係			
	現住所	〒	（電話	- -	）
教育部門	（ ） 教育部門				
志願理由	志願する学級（該当に○）	1 通常学級 2 重複障がい学級 3 訪問教育学級			
	宮崎県立延岡しるやま支援学校長 殿				
	私は、貴校高等部普通科第1学年へ入学したいので、必要書類を添えて出願します。 令和7年 月 日 志願者氏名 保護者氏名				

(注) 1 ※印の欄は記入しないでください。
 2 必要書類は、学校によって異なりますので御注意ください。
 3 志願する学級は、志願先の特別支援学校の教育課程に準じて、適切な学級を選択してください。

割印

受検票（令和7年度用）	
受験番号	※
ふりがな氏名	
生年月日	昭和・平成 年 月 日生
出身学校	
志願する学級（該当に○）	1 通常学級 2 重複障がい学級 3 訪問教育学級
※	宮崎県立延岡しるやま支援学校長 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">印</div>

(注) 1 ※印の欄は記入しないこと。
 2 この受検票は、受検中必ず携帯すること。
 3 持参すべきもの
 志願先の特別支援学校長が指示するもの。

(様式4) 特別支援学校入学願書(高等部保健療科用)

受付年月日	※令和7年	月	日	※	受検番号	※	
志願者	ふりがな氏名	志願者写真貼付 1 脱帽 2 正面・上半身 3 縦4cm×横3cm 4 出願前3か月以内に撮影した写真を貼り付けること					
	生年月日	昭和・平成	年	月	日	性 別	男・女
	現住所	〒 (電話 - - -)					
保護者等	出身学校	立 (昭和・平成・令和) 年 月 日 卒業・卒業見込) 学校					
	ふりがな氏名	志願者との関係					
志願理由	現住所	〒 (電話 - - -)					
	志願する科	保健療科					
宮崎県立明星視覚支援学校長 殿 私は、貴校高等部保健療科第1学年へ入学したいので、必要書類を添えて出願します。 令和7年 月 日 志願者氏名 保護者等氏名							

(注) ※印の欄は記入しないでください。

割印

受検票(令和7年度用)	※
受検番号	※
ふりがな氏名	
生年月日	昭和・平成 年 月 日生
出身学校	
志願する科	保健療科
※	宮崎県立明星視覚支援学校長 印

(注) 1 ※印の欄は記入しないこと。
2 この受検票は、受検中必ず携帯すること。
3 持参すべきもの
学校長が指示するもの。

特別支援学校入学願書（高等部専攻科用）

受付年月日	※令和7年	月	日	※	受検番号	※
志願者	ふりがな氏名	志願者写真貼付 1 脱帽 2 正面上半身 3 縦4cm×横3cm 4 出願前3か月以内 に撮影した写真を 貼り付けること				
	生年月日	昭和・平成	年	月	日生	性別
	現住所	〒	—	—	—	男・女
	出身学校	（電話	—	—	）	立 学校 （昭和・平成・令和 年 月 日 卒業・卒業見込）
保護者等	ふりがな氏名	志願者との関係				
	現住所	〒	—	—	—	（電話
志願理由	志願する学科 （第1希望の 学科に○）	1 専攻科理療科 2 専攻科保健理療科				
	宮崎県立明星視覚支援学校長 殿	科第1学年へ入学したいので、必要書類を添えて 出願します。				
		令和7年	月	日	志願者氏名	保護者等氏名

(注) ※印の欄は記入しないでください。

受検票（令和7年度用）	
受検番号	※
ふりがな氏名	
生年月日	昭和・平成 年 月 日生
出身学校	
志願する科 （第1希望の 学科に○）	1 専攻科理療科 2 専攻科保健理療科
※	宮崎県立明星視覚支援学校長 印

割印

(注) 1 ※印の欄は記入しないこと。
2 この受検票は、受検中必ず携帯すること。
3 持参すべきもの
学校長が指示するもの。

(様式6)

調査書

(高等学校に準ずる教育を行う特別支援学校普通科通常学級、保健医療科用)

整理番号	※
------	---

志願者	ふりがな 氏名		性別	男・女
	生年月日	昭和・平成 年 月 日生		
	現住所	〒 (施設名:)		
	出身学校	立 学校 中学校 通常の学級 特別支援学級 (知的障がい 肢体不自由 身体虚弱 弱視 難聴 自閉症・情緒障がい) 特別支援学校 (通常学級 重複障がい学級 訪問教育学級) ※該当するものに○してください。 昭和・平成・令和 年 月 卒業・卒業見込		

受検に関する事前の教育相談	受検に関する事前の教育相談実施日 令和6年 月 日 ()			
	実施校: 支援学校			
	参加者	志願者 氏名 () 保護者 続柄 () 氏名 () 学級担任等 職名 () 氏名 ()		
	確認事項	(1) 学校教育法施行令第22条の3に該当していることを確認した。 <input type="checkbox"/> 療育手帳 (有・無) (判定:) (次回判定: 令和 年 月 日) <input type="checkbox"/> 身体障害者手帳 (有・無) (等級: 種 級) (障がい名:) <input type="checkbox"/> 精神障害者保健福祉手帳 (有・無) (障害等級: 級) <input type="checkbox"/> 医師の診断書 ^{※1} (有・無) (診断名:) (診断機関:) <input type="checkbox"/> その他 () (2) 特別支援学校の教育課程について説明を受けていることを確認した。 <input type="checkbox"/> 確認済 (3) 卒業後の進路について説明を受けていることを確認した。 <input type="checkbox"/> 確認済		

		観 点 別 学 習 状 況			評 定			
教科	観 点	1年	2年	3年	1年	2年	3年	
学 習 の 記 録 I	国 語	国語への関心・意欲・態度 / 知識・技能						
		話す・聞く能力 / 思考・判断・表現						
		書く能力 / 主体的に学習に取り組む態度						
		※読む能力						
		※言語についての知識・理解・技能						
	社 会	社会的事象への関心・意欲・態度 / 知識・技能						
		社会的な思考・判断・表現 / 思考・判断・表現						
		資料活用の技能 / 主体的に学習に取り組む態度						
		※社会的事象についての知識・理解						
	数 学	数学への関心・意欲・態度 / 知識・技能						
		数学的な見方や考え方 / 思考・判断・表現						
		数学的な技能 / 主体的に学習に取り組む態度						
		※数量や図形などについての知識・理解						
	理 科	自然事象への関心・意欲・態度 / 知識・技能						
		科学的な思考・表現 / 思考・判断・表現						
		観察・実験の技能 / 主体的に学習に取り組む態度						
※自然事象についての知識・理解								
音 楽	音楽への関心・意欲・態度 / 知識・技能							
	音楽表現の創意工夫 / 思考・判断・表現							
	音楽表現の技能 / 主体的に学習に取り組む態度							
	※鑑賞の能力							
美 術	美術への関心・意欲・態度 / 知識・技能							
	発想や構想の能力 / 思考・判断・表現							
	創造的な技能 / 主体的に学習に取り組む態度							
	※鑑賞の能力							
保 健 体 育	運動や健康・安全への関心・意欲・態度 / 知識・技能							
	運動や健康・安全についての思考・判断 / 思考・判断・表現							
	運動の技能 / 主体的に学習に取り組む態度							
	※運動や健康・安全についての知識・理解							
技 術 ・ 家 庭	生活や技術への関心・意欲・態度 / 知識・技能							
	生活を工夫し創造する能力 / 思考・判断・表現							
	生活の技能 / 主体的に学習に取り組む態度							
	※生活や技術についての知識・理解							
外 国 語	コミュニケーションへの関心・意欲・態度 / 知識・技能							
	外国語表現の能力 / 思考・判断・表現							
	外国語理解の能力 / 主体的に学習に取り組む態度							
	※言語や文化についての知識・理解							
自 立 活 動	教育課程上実施した場合についての評価を文章で記入							

※は旧教育課程の生徒の観点別評価を示す。旧教育課程の生徒のみ記入しそれ以外の生徒は空欄。

学 習 の 記 録 II	選択教科	学年	教科	評定	学年	教科	評定	学年	教科	評定	
	総合的な学習の時間の記録										
		学習活動			観点			評価			
	1年										
2年											
3年											
特別活動の記録	活動の状況										
	内容	学年	1年	2年	3年	内容	学年	1年	2年	3年	
	学級活動					学校行事					
	生徒会活動										
行 動 の 記 録	項目		状況			項目		状況			
			1年	2年	3年			1年	2年	3年	
	基本的な生活習慣					思いやり・協力					
	健康・体力の向上					生命尊重・自然愛					
	自主・自立					勤労・奉仕					
	責任感					公正・公平					
創意工夫					公共心・公德心						
出 欠 の 記 録	学年	欠席日数	備考（主な理由等）								
	1年										
	2年										
	3年										
の健 康 診 断 録 録	視力	右 ()	聴力	右 ()	その他						
	左 ()	左 ()		左 ()							
<input type="checkbox"/> 異常なし											
主たる障がいの状況及び疾病等（身体障害者手帳所持者は等級を記入のこと）											
受検時の配慮事項（支援の有・無等、特に必要な事項について）											
この調査書は事実に相違のないことを証明する。 令和 年 月 日											
記載責任者氏名					学校長氏名			印			

(様式7)

調査書

(知的障がい通常学級、重複障がい学級、訪問教育学級用)

整理番号	※
------	---

志願者	ふりがな氏名		性別	男・女
	生年月日	昭和・平成 年 月 日生		
	現住所	〒 (施設名:)		
	出身学校	<p style="text-align: center;">立 学校</p> <p>中学校 通常の学級 特別支援学級(知的障がい 肢体不自由 身体虚弱 弱視 難聴 自閉症・情緒障がい 特別支援学校(通常学級 重複障がい学級 訪問教育学級)</p> <p>※該当するものに○してください。</p> <p style="text-align: center;">昭和・平成・令和 年 月 卒業・卒業見込</p>		
受検に関する事項	受検に関する事前の教育相談実施日 令和6年 月 日 ()			
	実施校: 支援学校			
	参加者	志願者 氏名 () 保護者 続柄 () 氏名 () 学級担任等 職名 () 氏名 ()		
事前の教育相談	<p>(1) 学校教育法施行令第22条の3に該当していることを確認した。</p> <p><input type="checkbox"/> 療育手帳 (有・無) (判定:) (次回判定: 令和 年 月 日)</p> <p><input type="checkbox"/> 身体障害者手帳 (有・無) (等級: 種 級) (障がい名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 精神障害者保健福祉手帳 (有・無) (障害等級: 級)</p> <p><input type="checkbox"/> 医師の診断書※1 (有・無) (診断名:) (診断機関:)</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p> <p>(2) 特別支援学校の教育課程について説明を受け確認した。 <input type="checkbox"/> 確認済</p> <p>(3) 卒業後の進路について説明を受け確認した。 <input type="checkbox"/> 確認済</p> <p>※1 医師の診断書については、知的障がいの場合、別途、発達検査結果の写しの提出を求めることがある。</p>			
身体状況	視力	右 ()	聴力	右 ()
		左 ()		左 ()
	障がいや疾病等による配慮事項			

	検 査 名	結 果	実施年月日	検査実施機関名
心 理 検 査				
基 本 的 生 活 習 慣 の 状 況	衣服の着脱			
	食 事			
	排 泄			
	そ の 他			
学 習 の 状 況	国 語			
	社 会			
	数 学			
	理 科			
	音 楽			
	美 術			
	保健体育			
	職業・家庭 (技術・家庭)			
	外 国 語			
	総合的な 学習の時間			
	特別活動			
自立活動				

心理行動面の特性	
----------	--

生徒指導上参考となる事柄等	
---------------	--

出欠の記録	学 年	欠席日数	備 考（主な理由等）
	1 年		
	2 年		
	3 年		

<p>受検時の配慮事項（支援の有・無等、特に必要な事項について）</p>
--

<p>この調査書は事実に相違のないことを証明する。</p>		
<p>令和 年 月 日</p>	<p>学校長氏名</p>	<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> 印 </div>
<p>記載責任者氏名</p>		

の 総 時 間 的 な 探 究 の 記 録	学 習 活 動	観 点	評 価			
記 録 特 別 活 動 の	内 容	観 点	1 年	2 年	3 年	4 年
	ホームルーム活動					
	生徒会活動					
	学校行事					
記 録 自 立 活 動 の	教育課程上実施した場合についての評価を文章で記入					
な る 諸 事 項 指 導 上 参 考 と						
出 欠 の 記 録	学年	欠席日数	備 考 (主な理由)			
	1 年					
	2 年					
	3 年					
	4 年					
視覚障がい等の状況及び疾病等 (身体障害者手帳保持者は等級を記入のこと)						
受検時の配慮事項 (支援の有・無等、特に必要な事項について)						
この調査書は事実に相違のないことを証明する。 令和 年 月 日						
記載責任者氏名			学校長氏名			印

(様式9)

受検に関する教育相談確認書

(高等部保健医療科※、専攻科用)

整理番号	※
------	---

志 願 者	ふりがな 氏名		性別	男・女
	生年月日	昭和・平成 年 月 日生		
者	現住所	〒		
	出身学校	昭和・平成・令和 年 月 卒業		

受 検 に 関 す る 事 前 の 認 認 項	受検に関する事前の教育相談実施日 令和6年 月 日 ()			
	実施校： 宮崎県立明星視覚支援学校			
	参 加 者	志願者 氏名 ()	保護者等 続柄 () 氏名 ()	
確 認 項	(1) 学校教育法施行令第22条の3に該当していることを確認した。 <input type="checkbox"/> 身体障害者手帳 (有・無) (等級： 種 級) (障がい名：) <input type="checkbox"/> 精神障害者保健福祉手帳 (有・無) (障害等級： 級) <input type="checkbox"/> 医師の診断書 (有・無) (診断名：) (診断機関：) <input type="checkbox"/> その他 () (2) 特別支援学校の教育課程について説明を受けていることを確認した。 <input type="checkbox"/> 確認済 (3) 卒業後の進路について説明を受けていることを確認した。 <input type="checkbox"/> 確認済			

記載内容について、事実と相違ありません。	
令和 年 月 日	氏名

※高等部保健医療科については、卒業後5年を超える者のみ提出

(様式 47) 他都道府県から特別支援学校幼稚部へ入学を志願する者の保護者用

令和 年 月 日

宮崎県教育委員会教育長 殿

保護者氏名 印

県外からの特別支援学校幼稚部入学志願許可願

下記の者を、貴県の特別支援学校幼稚部に入学志願させたいので、許可くださるようお願いいたします。

記

ふりがな 幼児氏名	(性別)
生年月日	令和 年 月 日 (歳)
保護者氏名	
保護者の住所	〒
希望する学校名	宮崎県立 学校
志願の理由	

- (注) (1)「志願の理由」欄は、具体的に記述すること。なお、障がいの状態を示す資料等(療育手帳又は身体障害者手帳等の写し、診断書等)を添付すること。
(2)「年齢」は、入学年度の4月1日現在で記入すること。

令和 年 月 日

宮崎県教育委員会教育長 殿

保護者氏名 印

県外からの特別支援学校高等部入学志願許可願

下記の者を、貴県の特別支援学校高等部に入学志願させたいので、許可くださるようお願いいたします。

記

本人	ふりがな 氏名		性別		生年月日	平成 年 月 日
	出身 学校名	立 学校 令和 年 月				卒業見込 卒業
保護者	氏名				本人との関係	
	現住所	〒				
	新住所	〒				
志願校	宮崎県立 学校 ・ 高等部					
志願の理由						

上記のとおり相違ないことを証明します。

また、本人は上記志願校以外の公立高等学校及び特別支援学校を志願していないことを証明します。

令和 年 月 日

学校名
所在地 (〒)
TEL

学校長名 印

(注) 「志願の理由」欄は、具体的に記述すること。

令和7年度特別支援学校入学者募集に関する日程

※8月9日（金）募集要綱配布

9 月		
1	日	
2	月	受検に関する事前の教育相談（～12/6）
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	
11	水	
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	敬老の日
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	
21	土	
22	日	秋分の日
23	月	振替休日
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	↓

10 月		
1	火	受検に関する事前の教育相談（～12/6）
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	スポーツの日
15	火	
16	水	
17	木	
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	
22	火	
23	水	
24	木	
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	↓

11 月		
1	金	受検に関する事前の教育相談(～12/6)
2	土	
3	日	文化の日
4	月	振替休日
5	火	
6	水	
7	木	
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	
12	火	
13	水	
14	木	
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	
20	水	
21	木	
22	金	
23	土	勤労感謝の日
24	日	
25	月	
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	↓
30	土	

12 月		
1	日	
2	月	受検に関する事前の教育相談(～12/6)
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	↓
7	土	
8	日	
9	月	願書配付開始
10	火	
11	水	
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	

1 月		
1	水	元 日
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	
8	水	
9	木	
10	金	
11	土	
12	日	
13	月	成人の日
14	火	
15	水	
16	木	
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	
21	火	
22	水	
23	木	
24	金	
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	▲ ■ 出願書類の受付開始
29	水	
30	木	▼ ■ 出願書類の受付締切
31	金	

2 月		
1	土	
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	
11	火	建国記念の日
12	水	
13	木	
14	金	
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	▲ 諸検査及び面接
19	水	▼ 諸検査及び面接
20	木	
21	金	
22	土	
23	日	天皇誕生日
24	月	振替休日
25	火	
26	水	
27	木	
28	金	合格者の発表